



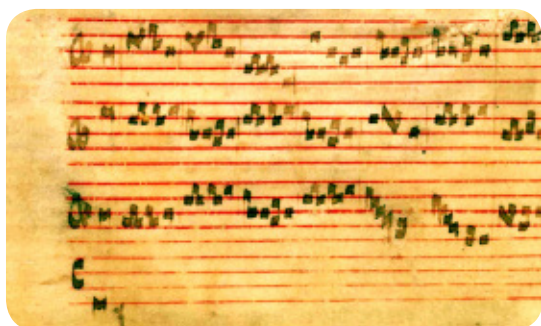
2018年9月3日(月) 19:00

# 中世ヨーロッパの音楽と楽譜

●講師：坂本 卓也 (ヴィエール (中世フィドル) / ヴァイオリン奏者)

中世のヨーロッパには、グレゴリオ聖歌をはじめとした教会音楽、吟遊詩人による恋の歌、ダンス・ミュージックなど、さまざまな音楽がありました。それらは写本に楽譜として書き留められることで現代にまで伝えられています。

人はいかにして音楽を記録してきたか、また、求められる音楽の変化にあわせてどのように記譜法を工夫していったのか、譜例と実演を交えながらご紹介します。



## ◀ ヴィエール *Vielle*

マルコ・サレルノ (スペイン) 製作。

12世紀以前から用いられた擦弦楽器<sup>さつげん</sup>※で、ヴァイオリンの祖先にあたるのではと考えられている。古くから数々の写本や絵画に描かれているが、おそらく、16世紀のはじめにヴァイオリンが出現したことによって急速に衰退し、現存している楽器はない。

「ヴィエール」はフランス語。英語では「フィドル」、ドイツ語では「フィーデル」などと呼ばれ、日本では「中世フィドル」と呼ぶことが増えている。

※弓または棒で、弦を摩擦して発音させる弦楽器の総称



## 坂本 卓也

ヴィオラ、バロック・ヴァイオリンを大津睦、J.-Ph. ヴァッサールの各氏に師事。また、バロック・ヴァイオリンをL.V. ダール、E. ガッティ、A. タンピエーリの各氏に、中世音楽理論をルドン絢子氏に学ぶ。

バロック～モダン～エレクトリック・ヴァイオリン、ヴィオラ、ヴィエールを自由に持ち替え、中世音楽、初期バロックからクラシックのみならず、ポピュラー曲や昭和歌謡まで、幅広く演奏活動を行っている。

また、管理人を務める坂本音楽スタジオでは大人のアマチュア奏者や、身体トラブルを抱えた演奏家に対応したメソッドでの指導に力を入れている。日本中世フィドル協会大阪支部長。

■会場：伊丹アイフォニックホール 小ホール 1

■受講料：1,500円

■申込方法：ご予約後、当ホール事務所に参加費をご持参ください。  
定員になり次第締切ります。 ※申込受付中

■申込・問合せ：伊丹アイフォニックホール (伊丹市立音楽ホール)

TEL 072-780-2110

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1丁目3番30号 (水曜日休館)

<http://hccweb1.bai.ne.jp/aiphonic/>

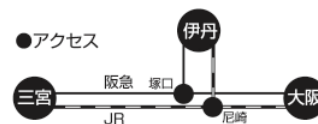
<振込の方は下記の口座をご利用ください>

【振込先】口座番号：00960-4-316319 加入者名：伊丹アイフォニックホール

※振込手数料はご負担願います。

※住所・氏名・電話番号を指定の欄にご記入の上、通信欄に人数、講座名をお書きください。

■主催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市



阪急伊丹駅まで：阪急梅田駅から約30分  
阪急神戸三宮駅から約40分 JR伊丹駅まで：  
JR大阪駅から約20分 JR三宮駅から約30分



阪急伊丹駅から徒歩約4分・JR伊丹駅から徒歩約7分  
※周辺に有料地下駐車場等がございます。